

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
24	東京純心大学	キリスト教B	宮本 久雄 看護学部 教授	2	後期	水	15	13:00～14:30	東京純心大学	5

【到達目標】

1. 自分の人格や感性を養うには物語りによって自己同一性を養う必要があり、授業はその為になされる
2. 物語りは、他者への感性とコミットする力を養うものを選び、現代の他者問題をテーマとする
3. こどもの育みは、まずこどもを育む者が、身体言語やこころを育てる祈り、あそびのゆとりを身につける必要がある
4. こども、からだ、あそび、こころは物語りによって有機的にむすばれ、自己を物語ることができる
5. 文化 (culture) は耕し、神に祈ることを語源とするように、心と他者関係の耕しの限り、瞑想祈りをとおく

【授業の概要】

授業では、学生が他者と出会う力を身につける目的で様々な物語を紹介する。その物語りは不幸・苦難にあった人々が、その苦しみを超克して幸福な他者との共生の地平を披いてゆく道行きを語るものである。

授業では、そうした人々の例としてマザー・テレサ、ジャン・バニエ、石岸礼道子と水俣病、ナチスによるユダヤ人迫害、地球のエコロジーを提案した教皇フランシスコなどを取り上げる。

学生は、そうした人物と共鳴し他者への感性を養う。

【授業内容】

1. 現代日本社会の問題を探る為マンガ「ドラえもん」を分析する
2. マンガ「ドラえもん」の分析と解釈
3. さかきバラ事件とそれを克服する「彩花へー生きる力をありがとう」を読む
4. イエスのたとえ話をとりあげ、福音を自覚する。「よきサマリア人」
5. イエス時代の視覚的映像による理解に向け DVD「イエス」1
6. DVD「イエス」2を見る
7. 「無慈悲な僕」(エンブレムも付加)と「罪な女」の解釈
8. 「ぶどう園の労働者」と「パパラギ」を読み解釈
9. 「放蕩息子」
10. 福音を生きた人々：マザー・テレサ生涯の DVD
11. マザー・テレサのことば
12. 井深八重 (ハンセン病患者への奉仕者)
13. ジャン・バニエとラルシェ (知的ハンディの若者の協働体)
14. 「十万年後の世界」フィンランドのオンカロの DVD
15. 教皇フランシスコのエコロジー (ラウダートシ) を読む

【成績評価方法】

後期のレポート (70%)、リアクション・ペーパー (10%)、授業中のテキスト音読の態度など (20%)

【教科書】

資料として教官がその都度配布する。

【参考書、教材等】

新約聖書の福音書の「マタイ伝」と「ルカ伝」;『そうか！なるほど！！キリスト教』日本キリスト教団出版局、2016年。

※ この授業は、9/21 (水) が初回です。